

令和4年度 事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

一般財団法人 飛騨地域地場産業振興センター

令和4年度の日本の経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、穏やかな持ち直しが続いた。その一方で、世界的なエネルギー・食糧価格の高騰や、欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、日本経済の取り巻く環境は厳しさが増した1年となった。

このような情勢の中、当財団では、岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部が示す「コロナ社会を生き抜く行動指針」に則り、一部の事業では、開催時期の変更や規模の縮小などの対応をし、実施した。大規模改修事業では、老朽化により利用者の安全性が危惧されたエレベーターの取り換え工事を行い、利用者の安全性と利便性が確保されました。また、自主事業により1階ギャラリーの改修を行うとともに、飛騨ものづくり展を2回開催し、市民や観光客に飛騨のものづくりの技とところを伝え、来館者の増加に繋げた。

さらに、経営検討委員会では、当財団の今後のあるべき姿を協議し、「検討結果とりまとめ」を理事会に報告した。事業の見直しを行い、事業ごとの成果目標値を設定し、令和5年度の事業計画を策定した。

令和4年度に実施した主要事業の概況は、次のとおりである。

I. 公益目的事業

1. 地場産品展示・普及事業

(1) 飛騨・暮らしの工芸品展示会事業

①実施目的

飛騨地域には、伝統的工芸品（飛騨春慶・一位一刀彫）の他にも、陶磁器・木工・紙製品・ガラス・布製品・染物・竹細工など数多くの優れた工芸品が作られており、全国的知名度・認知度を高めるため、積極的なPRが必要であることから、これら工芸品の良さを広くPRするための展示会を実施した。

②実施期間 令和4年11月17日（木）～11月22日（火） 6日間

③実施場所 兵庫県神戸市中央区三宮1-10-1

さんちかホール（約250㎡）

- ④出展者数 5社
- ⑤展示内容 ア. 工芸品展示コーナー
飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器、布細工、染物、鉄工製品、竹細工、和紙、ガラス、わら細工、木工小物、木工家具等
イ. 観光・工芸品パンフレットコーナー
- ⑥来場者数 1, 120人

(2) 飛騨の伝統的工芸品展

- ①実施目的
飛騨地域の代表的工芸品である飛騨春慶、飛騨一位一刀彫及び陶磁器（小糸焼・渋草焼）を、観光客・市民に向け広く紹介することで、伝統的工芸品の魅力の再発見、販路拡大につなげることを目的に実施した。
- ②実施期間 令和4年11月1日（火）～ 7日（月） 7日間
9：00～19：00
（展示は、11月30日まで常設展示として継続）
- ③実施場所 飛騨高山まちの博物館
高山市上一之町75
- ④展示内容 飛騨春慶、飛騨一位一刀彫、小糸焼、渋草焼芳国舎 81点
- ⑤来場者数 1, 332人

(3) 地場産品普及開拓事業

- ①実施目的
飛騨地域の事業者により製造された製品の普及と販路開拓を目的に、首都圏において開催される見本市に出展した。
- ②実施期間 令和5年2月15日（水）～17日（金） 3日間
9：00～18：00（最終日は17：00まで）
- ③実施場所 東京ビッグサイト（東京都江東区有明）
東京インターナショナル・ギフト・ショーに小間出展
- ④出展者数 6社
- ⑤展示内容 木工小物、木工家具、建材、化粧品
- ⑥来場者数 229, 968人

2. 地域人材確保・養成事業

(1) 飛騨地域ものづくり技能向上研修

- ①実施目的
飛騨地域には、伝統工芸を始めとして、多くの優れた技や技術が蓄積されており、次の世代へ引き継がれることが重要である。家具や木工の若手を対象に、第一線の職人から直接指導してもらうことで、技能の向上・ものづくり意識の啓発を目的に実施した。
- ②実施期間

令和4年7月31日（日）～ 12月18日（日）

③研修内容

ア. 曲げ物（10名が2回研修。延べ2回・20名）

飛騨春慶の木地の一つである曲げ物の制作を通し、伝統工芸における木地加工の基礎を習得した。

課題 <小判弁当箱、丸弁当箱>

木地加工・曲げ・樺綴じ

講師 木地師（曲げ物） 西田 恵一 氏

参加者 10名

イ. 板物（留付）（11名が3回研修。延べ3回・33名）

飛騨春慶の木地の一つである板物（留付）の制作を通し、伝統工芸における木地加工の基礎を習得した。

課題 <六角小鉢、ティッシュボックス>

カンナの調整、木地加工、底板入れ

講師 木地師（板物） 小鳥 昇一 氏

参加者 11名

ウ. 建具（組子）（10名が2回研修。延べ2回・20名）

組子を中心に建具における装飾の基礎を習得した。

課題 <升つなぎ、そろ盤つなぎ>

木地加工、組み立て

講師 森下建具店 森下 淳一 氏

かきや工芸 柿家 正則 氏

参加者 10名

エ. 摺り漆・春慶塗（9名が9回研修。延べ9回・81名）

摺り漆・春慶塗の技法を通し、漆の扱い方・漆の塗り方の基礎を習得した。

課題 <曲げ物・板物での制作品等>

目止め・下地・研磨・摺り漆、春慶仕上塗り

講師 塗師 鈴木 俊文 氏

参加者 9名

オ. 金箔（11名が2回研修。延べ2回・22名）

お盆などへの加飾のひとつである金箔の貼り方の基礎を習得した。

課題 <箔押し>

名刺盆への箔押し

講師 (有)仏壇工芸 ほりお 奥原 茂 氏 他3名

参加者 11名

カ. レザークラフト（2組（5名1組, 6名1組）が5回研修。延べ10回・55名）

革の基礎知識及び革加工技術の基礎を習得した。

課題 <ペンケース>

革のカット・穴開け・縫い合わせ・ファスナーの取付

講師 レザークラフト 北川 侃奈 氏

参加者 11名

キ. 椅子張り (8名が1回研修。延べ1回・8名)

椅子のデザイン性や座り心地を左右する椅子張りの基礎を習得した。

課題 <ボウズ張り、布バネ張り(座学)>

裏張り、生地・ウレタンカット、ボウズ張り

講師 とらまめ 北奥 美帆 氏

参加者 8名

ク. 木彫 (2組 (8名1組) が5回研修。延べ5回・80名)

屋台彫刻や寺社建築の装飾にも使われる木彫の基礎を習得した。

課題 <笹の葉皿)>

粗彫り、中彫り、仕上彫り

講師 二代 小坂 礼之 氏

参加者 16名

※8種類の研修に参加した人数等

・実人数 86名

・延べ回数 34回

・延べ人数 319名

(2) 販売促進研修

①実施目的

飛騨地域の事業者の販売力向上・販路拡大を目的に、POP講座を実施した。

②実施内容

ア. 実施日 令和5年2月21日(火)

イ. 講師 牧ヶ野 芳男 氏

ウ. 参加者 12名

3. 地場産業活性化対策事業

(1) 飛騨の味まつり

①実施目的

飛騨地域で生産される食料品を広く紹介し、「飛騨の味」の需要促進と販路拡大を図ることを目的に、春と秋の2回(第68・69回)実施をした。

②実施内容

<春>

ア. 実施期間 令和4年 6月 4日(土)・5日(日) 2日間

イ. 実施場所 飛騨高山まちの体験交流館 交流広場

ウ. 出店者数 26社(高山市 16 飛騨市 3 下呂市 1
飛騨地域 2 その他 4)

エ. 来場者数 8,678人

<秋>

- ア. 実施期間 令和4年10月 1日(土)・ 2日(日) 2日間
イ. 実施場所 飛騨高山まちの体験交流館 交流広場
ウ. 出店者数 24社(高山市 13 飛騨市 3 下呂市 1
白川村 1 飛騨地域 2 その他 4)
エ. 来場者数 11,992人

(2) 親子伝統的工芸品体験教室

①実施目的

飛騨地域の代表的工芸品である一位一刀彫を実際に体験してもらうことで一位一刀彫への理解を深め、ものづくりへの関心を高めてもらうため、夏休みを利用して親子による一位一刀彫の体験教室を実施した。

②実施日 令和4年 7月23日(土)

③参加者 9組 18名

(3) 地域活性化促進事業

下記の事業に負担金を支出し、支援を行った。

- ・ 飛騨高山観光客誘致推進事業

(4) 情報収集提供事業

新聞情報を中心に、情報収集・整理・提供を行った他、インターネットにより地場産製品の発信を行った。

(5) おうちで飛騨の味まつり

①実施目的

飛騨の味まつりをインターネットで開催(ネットショップ)し、全国に飛騨の味をPRした。

②実施内容

ア. 実施期間 令和4年4月15日(金)～5月5日(木) 21日間

イ. 出店者数 42社

ウ. 商品数 180点

4. 地場産業販路開拓事業

(1) 飛騨のクラフト販路開拓事業

①実施目的

飛騨地域に育っているクラフト制作者(飛騨のつくり手の会、飛騨の木工房の会)の作品を広く紹介し、需要を促進することによりクラフト制作が集積された産業として進展することを目的に実施した。

②実施期間 令和4年10月22日(土)～26日(水) 5日間

③実施場所 飛騨・世界生活文化センター

高山市千島町900-1

飛騨の家具フェスティバルに出展

④出展者数 20社

⑤来場者数 7,904人

5. その他の事業

(1) 「2023 飛騨の家具フェスティバル」

飛騨の家具フェスティバル実行委員会の実施した事業に、後援団体として事業の推進に協力した。

- ・主 催 (協) 飛騨木工連合会
- ・開催期間 令和4年10月22日(土)～26日(水)
- ・来場者数 31,000人

(2) 「ジャパンハウスロンドン飛騨の匠・伝統は未来を拓く」展

飛騨の匠展推進委員会の実施した事業に協力した。

- ・主 催 ジャパンハウスロンドン
- ・開催期間 令和4年9月29日(木)～令和5年1月29日(日)
- ・入場者数 131,809人

(3) 飛騨ものづくり展 (自主事業)

飛騨地域の優れたものづくりのPRを目的に、地場産センター1階 匠&クラフトギャラリーにおいて企画展を実施した。

- ・第1回 「ICHIGAI衆」展
内 容 4人の木彫家(挟土宝眼・小坂礼之・野垣内亮丸・谷本善隆)による展示販売。
会 期 令和4年10月5日(水)～12月25日(日) 82日間
来館者数 1,768人
- ・第2回 「独楽あそびと飛騨の花もち」展
内 容 新人の独楽作家(渡邊彩子)と師匠(伊藤誠一・湯河原町在住)と飛騨の花もち組合(中野俊一)による展示販売。
会 期 令和5年1月21日(土)～3月31日(金)
4月16日まで会期延長 86日間
来館者数 1,654人
販 売 額 独楽118点・279,950円

II. 収益事業の状況

1. 地場産会館運営事業

(1) エレベーター取り換え工事

- ・施 工 者 株式会社日立ビルシステム 中部支社長 井藤研晋
- ・工 事 費 19,250,000円
- ・工事期間 令和4年6月22日～12月21日
- ・規 格 等 定員：15名 速度：60m/min 新法適用：14新法対応

・運行開始 令和4年12月23日

(2)施設利用状況

令和4年度の諸施設の使用状況は、下表の通りです。

延べ利用回数 605回（前年比 121回増）
 施設利用料収入 3,596,769円（前年比 24,354円増）

単位：円

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設利用料	4,071,740	3,796,849	2,549,989	3,572,415	3,596,769
利用回数	782	651	423	484	605

〔コロナによる貸館業務の停止及び時間短縮状況等〕

- ・第4波 令和3年4月26日～6月20日（56日間）貸館業務の時間短縮
- ・第5波 令和3年8月27日～9月30日（35日間）原則貸館業務の停止
- ・第6波 令和4年1月21日～3月6日（45日間）貸館業務の時間短縮
- ・第7波 令和4年7月15日～9月30日（78日間）BA.5対策強化宣言
- ・第8波 令和4年12月23日～令和5年2月5日（44日間）

医療ひっ迫防止対策宣言

2. 高山市営広小路駐車場管理事業

駐車場利用状況

令和4年度の駐車場の利用状況は、下表の通りです。

延べ利用台数 31,637台（前年比 5,483台増）
 駐車料金収入 12,694,520円（前年比 4,399,870円増）

単位：円

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
駐車場利用料	13,829,310	13,684,900	7,933,440	8,294,650	12,694,520
利用台数	35,299	34,935	26,919	26,154	31,637

Ⅲ. 管理事業の状況

1. 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ① 第1回理事会 令和4年5月30日(月)
・主な審議内容 令和3年度事業報告及び決算報告の承認

- ② 第2回理事会 令和4年9月7日(水)
・主な審議内容 経営検討委員会の「検討結果とりまとめ報告」について

- ③ 第3回理事会 令和5年3月29日(水)
・主な審議内容 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認

(2) 評議員会

- ① 第1回評議員会 令和4年4月1日(木)
・主な審議事項 理事の選任(みなし決議)

- ② 定時評議員会 令和4年6月20日(月)
・主な審議内容 令和3年度決算書類の承認

- ③ 第3回評議員会 令和4年10月1日(土)
・主な審議事項 理事の選任(みなし決議)

2. 経営検討委員会の開催

- ① 第3回経営検討委員会 令和4年8月24日(水)
・主な審議内容 検討結果とりまとめ(案)について